

# 英語科学習指導案

令和3年10月26日(火) 第6校時 1年D組教室

授業学級 1年D組(40名)

授業者

## 1 単元名 「理想のロボットを発表しよう」

### 2 単元設定の理由

(このような生徒に) 生徒は、「My Family, My Hometown」において、自分たちが住んでいるまちについて紹介するために、その場所の説明や好きな場所とその理由などを書く学習を行った。

(このような教材で) このような生徒が、世界中の中学生が参加する「理想のロボットコンテスト」で、理想のロボットを発表する単元が「理想のロボットを発表しよう」である。本単元では、教科書の登場人物である花やディヌー、教師の考える理想のロボットの発表を聞いたり、発表原稿を読んだりして、まとまりのある文章を書いていくようにする。

(このような活動を通して) そこで、教師は、単元の導入において花とディヌーの理想のロボットについての二人の発表を聞く場を設ける。また、世界のさまざまなロボットの映像を見せて、教師はそこで、Lesson Goalを“Let’s introduce My Dream Robot at World Robot Contest.”と設定する。生徒は、二人の発表を参考にしたり、映像の中のロボットに対向したりして、自分の理想のロボットのできることを、マッピングでアイデアを書き出しながら考えたり、そのアイデアについてペアで話をしてアイデアを広げたりして、書く内容を改善したり整理したりする。その後、花の発表原稿を読む場を設ける。生徒は原稿を読んで、Opening, Body, Closingに分けられるまとまりのある文章で構成されていることに気づく。その構造を参考にして、自分の考えた理想のロボットの発表原稿をまとまりのある文章で書く。書いた文章をGoogle Slideにまとめ、それをお互いに見合う時間を設ける。

(このような資質・能力の育成を目指す) このような活動を行う中で、生徒は、自分の理想のロボットについて、マッピングやメモを用いて事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができると考える。以上のことから、本単元を設定した。

### 3 単元の目標及び学習指導要領との関連

「理想のロボットコンテスト」に参加するために、自分の考えたロボットができることやロボットの特徴について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。【(5)イ】

※『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語によると、英語の目標は、資質・能力の三つの柱を総合的に育成する観点から、一文の能力記述文で示すことが基本となっているため、本校多教科の学習指導案の単元の目標とは異なる表記をしている。

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>知</b> 助動詞 can の特徴や決まりを理解している。 <b>技</b> 理想のロボットについて、まとまりのある文章を書く技能を身に付けている。【(5)イ】	<b>思</b> 「理想のロボットコンテスト」に参加するために、自分の考えたロボットができることやロボットの特徴について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。【(5)イ】	<b>態</b> 「理想のロボットコンテスト」に参加するために、自分の考えたロボットができることやロボットの特徴について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

## 5 基礎的研究

**(生徒の研究)** 「Take Action! Talk 1」において生徒は、助動詞“can”の意味や用法を理解して使うことができるようになってきた。また、「My Family, My Hometown」において、しかし、Lesson 5まで学習を進めており、さまざまな英語表現を身につけているため、時間をかければ英語の文章を書くことができる。

**(素材の研究)** 今回扱う「理想のロボットを発表しよう」では、花とディヌーが自分の理想のロボットについて助動詞“can”を用いて発表している。二人の発表は、Opening, Body, Closingの3段階で構成されていて、まとまりのある文章になっている。生徒はまとまりのある発表を聞いたり原稿を読んだりして、どうすればまとまりのある文章を書くことができるかに気付く。また、生徒の学習状況に合わせて、教師の理想のロボットの発表原稿として、その特徴をつけた理由や気持ちを含んだ文章を提示する。

表1 生徒が聞いたり読んだりする理想のロボットの発表原稿

内容	話される英語
花の理想のロボットの発表	This is My Dream Robot, Pochi Friend. It can run like a real dog. It can do many tricks. It can also speak many languages. You can be friends with it.
ディヌーの理想のロボットの発表	My Dream Robot is Cooking Jr. It can cook very well. It can make dishes like seafood pizza and desserts like strawberry cake. Get one for your home.
教師の理想のロボットの発表原稿	Do you want a professional musician in your house? My Dream Robot is Music Robot. It can play many kinds of instruments. I can play the guitar a little, but it can many instruments. It can also sing like popular singers. I like singing, so I want to sing with my favorite singer Fukase and many instruments. I feel happy. It can give advice. I want to be good at singing. You can enjoy music with it. Get one for your home. Let's be a good singer!

**(教材化の研究)** 本単元では、Lesson Goalを“Let's introduce My Dream Robot.”と設定する。世界中の中学生が参加する「理想のロボットコンテスト」に参加するという場面状況を設定し、必然的に英語を使う状況を作る。また、マッピングとメモを合わせて「Mind Note」とし、教師の「Mind Note」を提示し、T-Tでそれについてのやり取りを、生徒たちのやり取りの前にモデルとして行う(図1)。そのやり取りの中で、理想のロボットの特徴やできることを聞いた聞き手が、その特徴を考えた理由や、ロボットの外見、話し手の気持ちを「Why do you want it?」や「How do you feel with it?」などの疑問文を使って尋ねる。それに答えることで、ロボットの特徴やできることのみを書いていたメモに、理由づけなどを行うことができる。それを目標としたやり取りを行う場を設ける。また、そのやり取りの中で、友の紹介文から理想のロボットのアイデアなどを得て、自分の理想のロボットのアイデアに応用することもできる。

図1 教師の「Mind Note」

My Robot Name. Robot Musician

- It can play many kinds of instruments.  
→ I can listen and sing with them.
- It can sing in voices like popular singers.  
→ I can sing with my favorite singer.
- It can give me advices.  
→ I can be good at singing. I'm happy.

6 単元展開 内容を整理し、まとまりのある文章を書く学習 全4時間 本時は第3時

段階	◆ねらい 教師の指導・支援	予想される生徒の反応	評価の 観点	時間
導入	<p>◆花とディヌーの発表を聞いて感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花とディヌーの理想のロボットについての発表を聞く場を設ける。</li> <li>世界中のすごいロボットを動画などで紹介する。</li> <li>Lesson Goal “Let’s introduce My Dream Robot at World Robot Contest.” を設定する。</li> <li>マッピングを使ってアイデアを書き始める。</li> </ul>	<p>ア 花とディヌーの発表はどちらも最初に名前を言ってから説明をしていて、とてもわかりやすかった。自分も分かりやすい英語で伝えられるようにしたい。</p> <p>イ 発表を聞いて分からないところがあったが、みんなで内容を確認して発表の内容を理解することができた。これからは自分で理解できるようにしたい。</p> <p>ウ 世界にはこんなに色々なロボットがあるとは知らなかった。自分も誰かの役に立つような理想のロボットの機能を考えてみたい。</p> <p>エ 他の友のマッピングを少し見てみたら、おもしろいロボットのアイデアがたくさんあった。他の友が考えたロボットも知りたい。</p>	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。	1
展開	<p>◆「理想のロボット」についてのメモを基にやり取りを行い、理由や気持ちなどを書き加えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エのような振り返りから、Today’s Goal “Let’s talk about our Dream Robots.” を設定する。</li> <li>考えをまとめる方法として「Mind Note」を紹介し、理想のロボットのできることにについて「Mind Note」を作成する。</li> <li>理想のロボットのできることや理由、気持ちなどについて、ペアで話し合う。</li> <li>やり取りで話した理由や気持ちなどを「Mind Note」に追記する。</li> </ul>	<p>オ 前時のマッピングで、おもしろいアイデアが浮かんだので、早く友に伝えたい。他の友のアイデアも聞くことができるので楽しみ。</p> <p>カ 前時作成したマッピングから、一番紹介したい理想のロボットを選んだ。書く内容が大体決まっていたので、メモがしやすかった。</p> <div data-bbox="630 1064 1326 1489" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想されるやり取り】</p> <p>A : What is your dream robot? B : My dream robot is Cat Friend. A : What can it do? B : It can move like a cat. A : What is it good for? B : I want to have a cat, but I can’t have a pet in my apartment. And it can speak English. B : Why? A : I can learn English. B : How do you feel with it? A : I feel very happy!</p> </div> <p>キ 友とのやり取りの中で、相手から質問をされて、どうしてその機能をつけたのかを話すことができた。聞かれたことを書き足してあげれば、より分かりやすく伝わりやすい文章が書けると思った。</p> <p>ク 友とのやり取りの中で、相手の理想のロボットのアイデアも知ることができた。自分のロボットにも応用できそうなアイデアがあったので、応用できるといいと思った。</p>	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。	1
	<p>◆花や教師が書いた発表原稿を読み、まとまりのある文章の特徴を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クのような振り返りから、Today’s Goal “Let’s be a good writer.” を設定する。</li> <li>花や教師が書いた発表原稿を読み、Opening, Body, Closing と文章の構造が分けられていることに気づく。</li> </ul>	<p>ケ 英語で文章を書くのは苦手なので、得意になれるように頑張りたい。</p> <p>コ 花の発表原稿はロボットの紹介を始めに言って、ロボットができることを言って、最後にまとめていたので、とても分かりやすい文章になっていると思った。自分もこのような文章を書いてみたい。</p> <p>サ 先生の発表原稿の方は、ロボットのできることや特徴だけを</p>	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の「Mind Note」から、Body に書く順番を考える。</li> <li>Opening, Closing に書く内容を考え、下書きを完成させる。</li> <li>Today's Goal を振り返る。</li> </ul>	<p>書くのではなく、どうしてそういう特徴にしたのかという考えや、その特徴をつけた背景にある事実なども加えて述べら</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【予想される下書き】</b></p> <p>Do you like cleaning? This is my dream robot, Clean Man.</p> <p>It can clean the room. I made it because I'm not good at cleaning. It can clean not only floors, but also kitchen and bathroom. It can go up and down the stairs! It can clean everywhere.</p> <p>Your house will be cleaner! Get one for your home.</p> </div> <p>れていて、より分かりやすい文章になっていると感じた。</p> <p>シ 前回の単元で学んだ、文章の最初に質問を入れることで、読む人の興味を引けるという方法を使って、Opening を書くことができた。</p> <p>ス Opening, Body, Closing の3つの部分を意識して文章を書くのは大変だけど、分かりやすく自分の理想のロボットの特徴を相手に伝えることができるので頑張って書けるようにしたい。</p> <p>セ 自分が書いたメモを基に、Opening, Body, Closing をそれぞれ書くことで、文章にするのが簡単だったし、分かりやすい文章になったと思う。分かりやすい文章を書くときにはテーマに対して描きたいことをメモをするととても書きやすくなると感じた。</p> <p>ソ マッピングでアイデアを広げていったので、自分がどうしてそのできることや特徴をつけたのかが書きやすかった。マッピングをしたことによって文と文のつながりを意識して書くことができたし、そうすることによってより分かりやすい文章を書くことができたと思う。</p>	<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に活かすことは毎時間必ず行う。</p> <p style="text-align: right;">1</p>
<p>◆「理想のロボットコンテスト」に参加するために、自分の考えたロボットができることやロボットの特徴について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Today's Goal "Let's share My Dream Robot." を設定する。</li> <li>理想のロボットについての文章を Google Silde に書く。</li> <li>他の人が書いたスライドを見る。</li> <li>Lesson Goal を振り返る。</li> </ul>	<p>タ 自分の理想のロボットについて、Opening, Body, Closing に沿ってまとまった文章を書くことができた。3つのパートに分けることを意識するとまとまった文章を書けたので楽しかった。</p> <p>チ クラスのみんなの理想のロボットをスライドごとに見ることができて面白かった。人それぞれ違ったアイデアがあって、中には自分では思い付かないようなアイデアもいっぱいあって、発想が面白いと思った。</p> <p>ツ 英語で文章を書くときは、事前に「Mind Note」を作って、Opening, Body, Closing を意識して文章を作ることで、まとまった文章を書くことができるということを学ぶことができた。次から英語で文章を書くときも今回学んだポイントを意識していきたい。</p> <p>テ 英語で文章を書くことに対してずっと苦手意識があったが、書く内容を「Mind Note」に整理してから、順番を考えて書くことで、何を書けばいいのかが分かりやすくなり、書くことに対して少し抵抗がなくなったのでよかった。</p>	<p>知、技、思、態</p> <p style="text-align: right;">1</p>
<p>後日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンステストとペーパーテストを行う。</li> </ul>	<p>「ひみつ道具」に関する文章を聞いたり読んだりして、自分の考えや感想を書く。</p>	<p>知、技、思、態</p>